

# Hello! FUJISEI

No. 179

将来必要になるだろう資金に対する準備については、意識はしていても家計の状況によってはついつい後回しとなってしまう方も多いようです。しかし、突然襲ってくる災害や病気は待っていてくれません。早めの準備が必要です。

金融広報中央委員会の「金融力調査」によると、将来に対するお金の備えについては、医療・介護・教育を中心にその必要性を感じつつも、準備できていないとする回答が相当数みられました。また、自分の受け取れる公的年金に関しては、加入年金種類を多くの方が知っている一方、満額支給のための必要加入年数、受け取れる金額等を知っている人は半数以下に止まっています。

今後お金が必要になると意識している費用については、「自分の医療・介護費用」が63.8%、「家

## 今後必要になると意識している費用

# 自分や家族の医療・介護費用が上位に！

族の医療・介護費用」が56.0%、「子どもの教育にかかる費用」が32.6%となっています（複数回答）。

しかし、これらの費用のうち、「自分の結婚費用」「子どもの結婚費用」「住宅の購入費用」については、「準備できていない」との回答が4割を上回りました。いずれの費用についても「準備できている」と回答した場合は、「預・貯金」で準備しているとの回答がもっとも多く、このうち、「自分の医療・介護費用」「家族の医療・介護費用」「子どもの教育にかかる費用」では、「預・貯金で準備している」（各52.4%、49.4%、

49.5%）に次いで、「保険」で準備しているとの回答が多くなっています（各50.6%、49.1%、29.3%）（複数回答）。

病気・離職等により定期的な収入が途絶えることもあります。備えている」は34.6%、「備えていない」は29.0%でした。「備えている」の回答では、「預・貯金」が82.3%、「保険」が54.6%（複数回答）で、「備えていない」理由は、「現在の収入では、将来に備えるまでの余裕がないから」が73.0%でした（複数回答）。

今後お金が必要になると意識している費用

